

会議名	港区国際防災ボランティア研修及び災害時対応訓練支援業務委託 第2回事業候補者選考委員会
開催日時	令和2年1月31日（金曜日）午前11時から正午まで
開催場所	区役所5階 514会議室
委員	明治学院大学国際平和研究所研究員 荻村 哲朗（委員長） 港区産業・地域振興支援部国際化・文化芸術担当課長 大久保 明子（副委員長） 麻布地区総合支所協働推進課長 鈴木 健（委員） 産業・地域振興支援部観光政策担当課長 相川 留美子（委員）
欠席委員	防災危機管理室防災課長 白井 隆司（委員）
事務局	地域振興課国際化推進係
会議次第	1 開会 2 一次審査（書類選考）について 3 二次審査（プレゼンテーション・質疑応答）について（案） 4 閉会
使用資料	[タブレット使用] 資料1 港区国際防災ボランティア研修及び災害時対応訓練支援業務委託事業候補者選考【一次審査結果表】 資料2 港区国際防災ボランティア研修及び災害時対応訓練支援業務委託事業候補者選考二次審査について（案） 参考資料1 港区国際防災ボランティア研修及び災害時対応訓練支援業務委託事業候補者選考二次審査採点票 参考資料2 港区国際防災ボランティア研修及び災害時対応訓練支援業務委託事業候補者選考評価基準
会議の内容	
事務局	【1 開会】 （委員長より開会の挨拶） ～詳細省略～
委員長	【2 一次審査（書類選考）について】 （事務局より資料1について説明）～詳細省略～
C委員	一次審査にあたり評価したポイントなどの講評をお願いしたい。
D委員	A 事業候補者について、人人体制のボリュームが大きい、従事職員の経験が豊富であること、事故発生時の対応等明確に記載しており、相対的に評価した。また、提案内容に関しては、課題と地域特性との関連性に基づいた育成方針で、一貫した提案内容になっている。
	B 事業候補者については、「自衛官キャリア形成」と「防災」との関係性について興味深かったので、一次審査を通過した際には、質疑したいと思った。

	<p>今回の事業は、発災時に活躍していただけるボランティアをどれだけ育成できるかがポイントなので、その点を踏まえ総合的に採点した。</p>
A 委員	<p>A 事業候補者が提案していた、「イベント型集客方法」は、港区ではどうかと感じた。</p> <p>B 事業候補者が提案していた、「ボランティアへのメールマガジン」は画期的だと思った。また、B 事業者は外部講師とネットワークが特に広い。A 事業候補者、B 事業候補者のプレゼンテーションを聴くのが楽しみである。</p> <p>長期的にみて、事業者を育てていくことも視野に入れる必要があると思った。</p>
B 委員	<p>A 事業候補者については、講師陣は多彩だが「外国人の防災」という観点からどの程度精通しているのか確認したい。また、育成指針に「母語による正確な情報発信と意志疎通」とあるが、実現方法として音声翻訳機以外の解決策もあるのか確認したい。</p> <p>B 事業候補者については、類似事業実績がないのは不安要素だが、自衛隊研修の実績は豊富なことから確実な業務遂行は期待できる。災害時対応訓練は方向性のみの記載だが、元自衛官の経験を地域防災にどのように活かすのか具体的に確認したい。ワンポイントレクチャーの取組は面白いと思った。</p>
A 委員	<p>一次審査の結果は、A 事業候補者 681 点、B 事業候補者 604 点となった。両者とも一次審査で 6 割以上の点数を獲得しているため、一次審査通過としてよいか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
事務局	<p>【3 二次審査（プレゼンテーション・質疑応答）について（案）】 （事務局より資料 2 について説明）～詳細省略～</p>
A 委員	<p>質疑応答の際、両者共通して聞きたい事項はあるか。</p>
B 委員	<p>事務局でまとめて事前に委員に共有をお願いしたい。</p>
事務局	<p>現時点で特に聞きたいという事項はあるか。</p>
B 委員	<p>人員体制に関して聞きたい。</p>
	<p>閉会の挨拶</p>